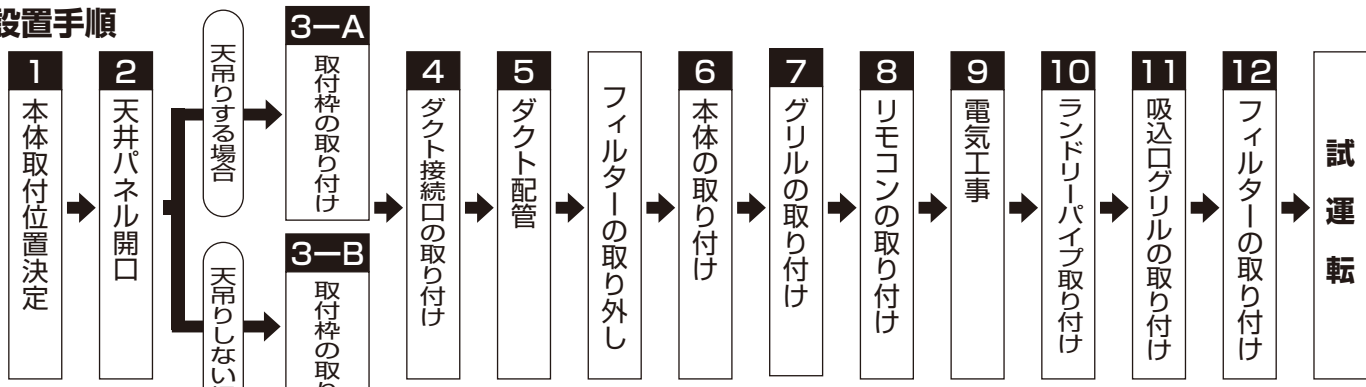


7 設置方法

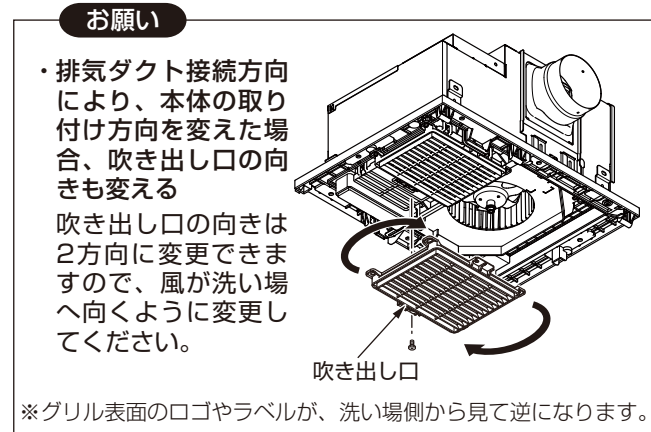
設置手順



天井に埋め込み部材が設置されている場合は、ここからの作業となります。(3-Bの場合は(3)より天井開口および天井補強材が取り付けられている場合は、ここからの作業となります。)

1. 本体取付位置決定 (現場開口の場合)

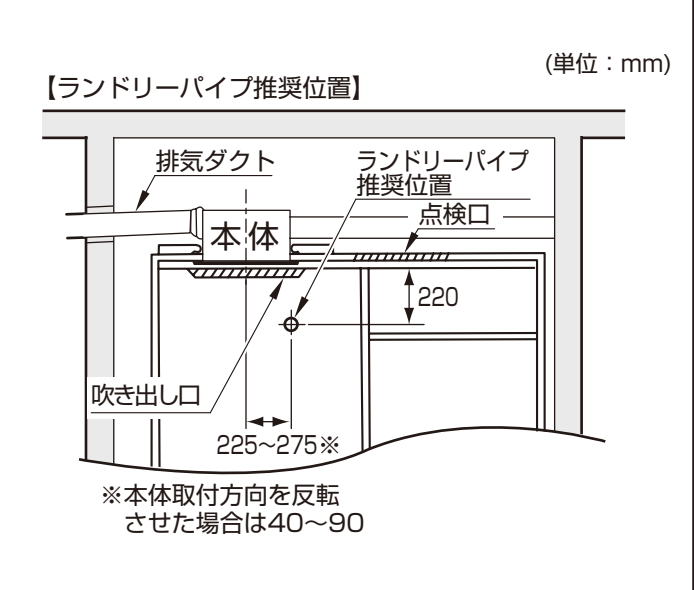
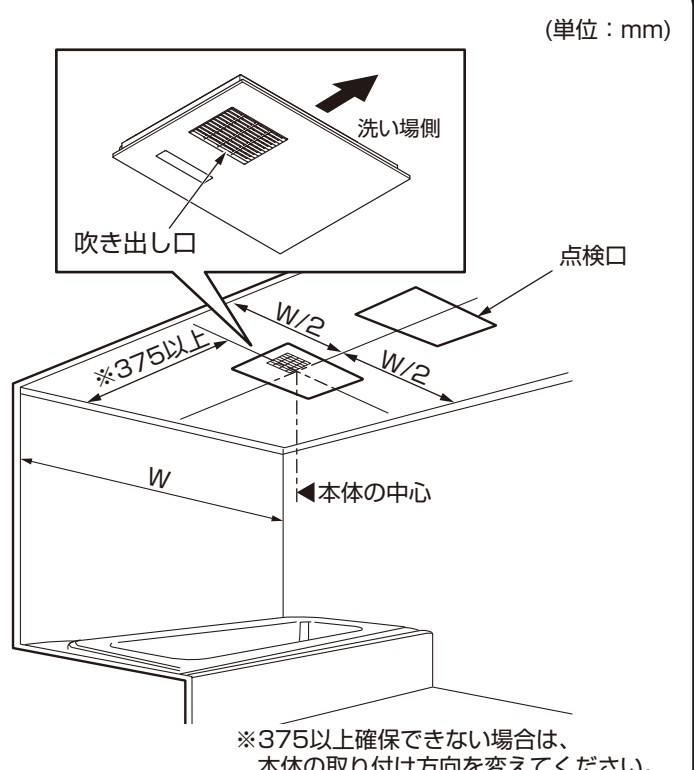
- 右図の推奨位置を参考に本体取付位置を決める。
 - 本体は、天井の水平面に、吹き出し口が洗い場側に向くように取り付けてください。
 - 天井裏に梁などがある場合は、本体の方向・位置を変えて設置してください。ただし、推奨位置に設置したときに比べて衣類乾燥時間が長くなったり、暖房性能が悪くなる場合があります。



※グリル表面のロゴやラベルが、洗い場側から見て逆になります。

- 本体取付位置が決まったら、ランドリーパイプの位置を確認する。照明や収納パネルが障害となる場合があります。

注意
 ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しない
 ランドリーパイプが過熱し、やけどや衣類が変色する原因になります。

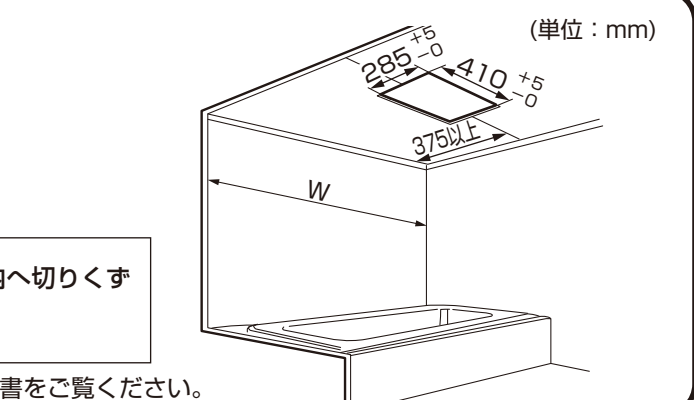


2. 天井パネル開口 (現場開口の場合)

- 天井パネルの推奨位置に285×410の開口を行う。(開口誤差範囲 285±5、410±5)
- 天井材が化粧鋼板の場合、切口には防錆材を塗布する。

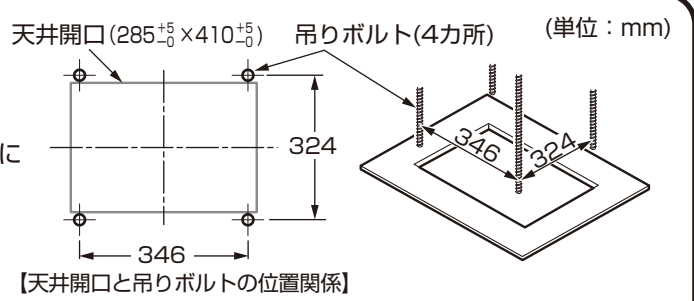
お願い
 天井組み立て後に天井開口や下穴加工を行う場合は、浴室内へ切りくずなどを残さないこと
 さびなどの原因になります。

※埋め込み部材を設置する場合は、埋め込み部材専用の設置説明書をご覧ください。

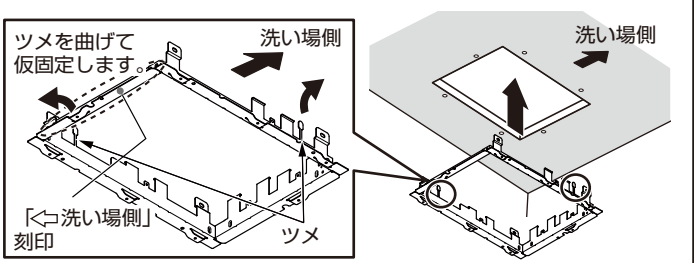


3-A. 取付枠の取り付け(天吊りする場合)

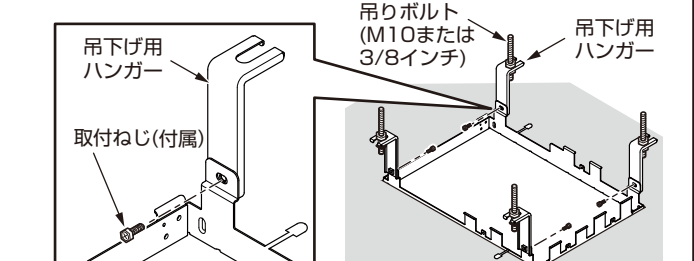
- 図の位置に吊りボルト(現場手配)を取り付ける。天井開口の中心を基準に、吊りボルト(4カ所)を取り付ける。吊りボルト(M10、または3/8インチ)は約100kgの荷重に耐えられるように施工してください。



- 天井開口部に取付枠を取り付ける。
※取付枠に洗い場側を示す刻印がありますので、取付方向が間違っていないか確認してください。

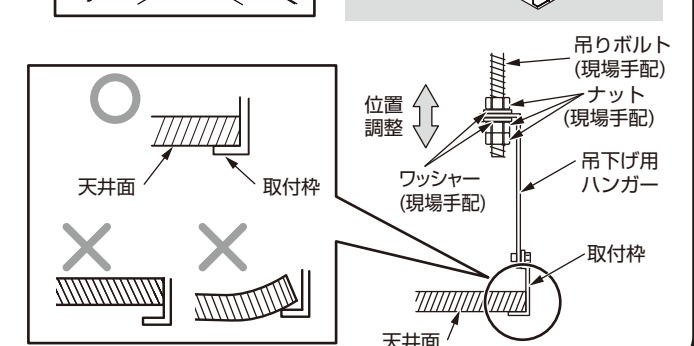


- 取付枠のツメ(2カ所)を外側に曲げて天井に仮固定する。(天吊りする場合は、取付枠を天井材にねじ止めする必要はありません)



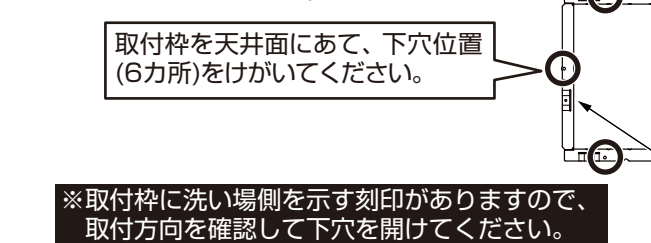
- 取付枠の(4カ所)に吊下げ用ハンガーを取り付ける。

- 吊りボルトに吊下げ用ハンガーを引っかけてナット(現場手配)で固定する。
取付枠と天井面が確実に密着するように吊り上げてください。
 - 密着していない場合、本体と天井面にすき間ができます。
 - 取付枠が持ち上がりすぎると、天井が凸状に変形し本体と天井面にすき間ができます。
 - ※すき間ができた場合は、ナットの取り付け位置で調整してください。



3-B. 取付枠の取り付け(天吊りしない場合)

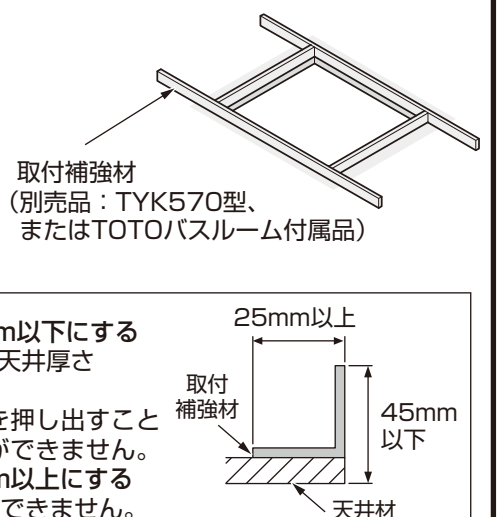
- 取付枠を直付けする場合は、取付枠取付用下穴(6カ所、φ3.5)を開ける。



※取付枠に洗い場側を示す刻印がありますので、取付方向を確認して下穴を開けてください。

3-B. 取付枠の取り付け(天吊りしない場合)のつづき

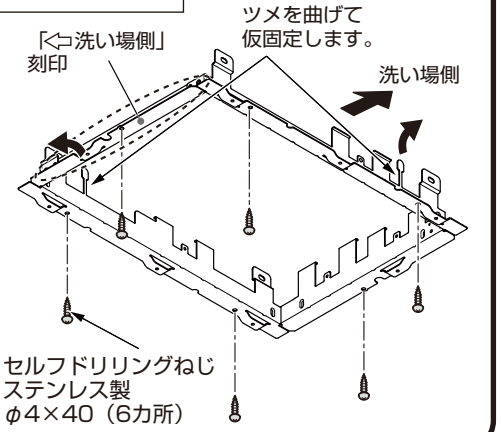
- 商品質量 (TYB4012G型: 8.8kg、TYB4022G型: 8.9kg、TYB4013G型: 8.8kg) に耐えるように天井パネルを補強する。取付補強材(別売品: TYK570型、またはTOTOバスルーム付属品)の使用をおすすめします。取付補強材(別売品: TYK570型、またはTOTOバスルーム付属品)を使用する場合は、接着剤(現場手配)で天井裏に接着します。※TYK570型を使用する場合は、付属の取付説明書をご覧ください。



注意
 商品質量に耐えるように天井裏を十分に補強する
 本体落下による被害の原因になります。

お願い
 取付補強材は天井材を含めて45mm以下にする(推奨品TYK570型使用の場合は、天井厚さ25mmまでとなります) これを超えると本体落下防止金具を押し出すことができないため、商品の取り付けができません。
 取付補強材は天井開口部から25mm以上にする
 取付枠取付ねじが取付補強材に固定できません。
 ※付属の取付枠取付ねじは、φ4×40です。

- 取付枠のツメ(2カ所)を外側に曲げて取付枠を天井に仮固定する。
※取付枠に洗い場側を示す刻印がありますので、取付方向が間違っていないか確認してください。



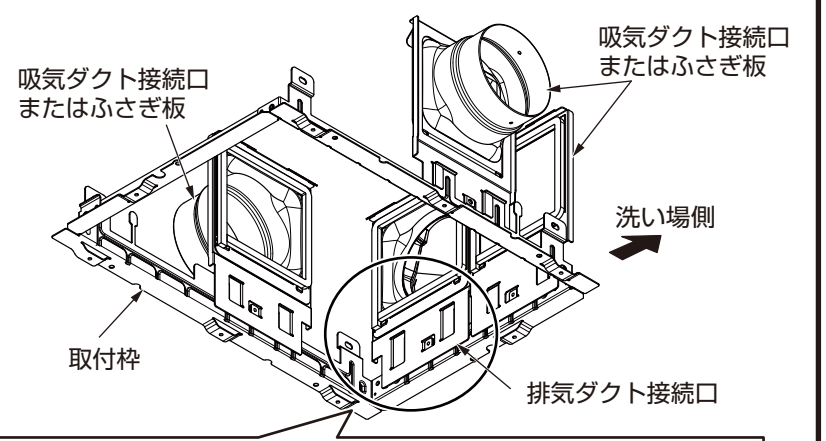
- 付属の取付枠取付ねじ(ステンレス製 φ4×40 セルフドリリングねじ)で6カ所を確実に固定する。

お願い
 インパクトドライバーは絶対に使用しない
 締め過ぎにより本体取付ねじの破損の原因になります。
 電動ドライバーを使用する場合は締付トルク3N・m以下のものを使用してください。

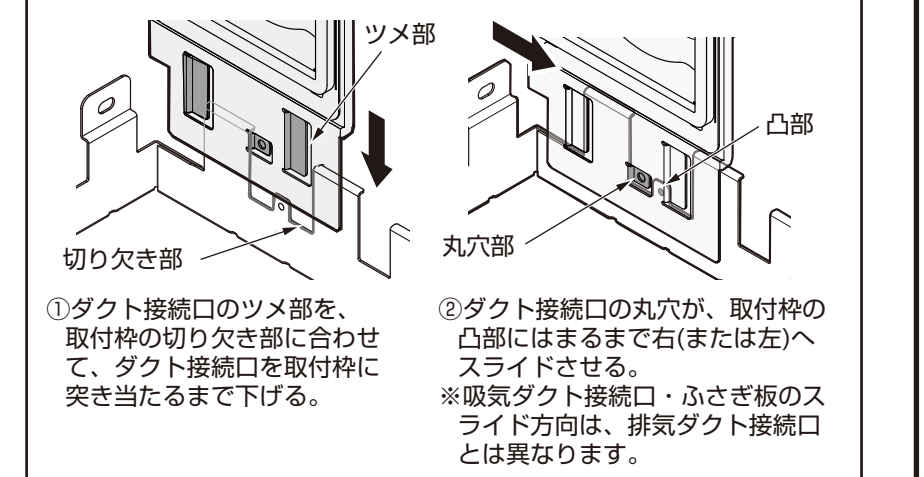
4. ダクト接続口の取り付け

- ダクト接続口、ふさぎ板を取付枠に取り付ける。排気ダクト接続口と吸気ダクト接続口は形状が異なります。刻印を確認してください。
- 吸気ダクト接続口は、3カ所から配管しやすい箇所を選択することができます。※排気ダクトの位置は変更できません。

	2室換気タイプ	3室換気タイプ
排気ダクト接続口	1個	1個
吸気ダクト接続口	1個	2個
ふさぎ板	2個	1個



注意
 必ず本商品付属のダクト接続口・ふさぎ板を使用する
 天井裏に蒸気などが漏れて建材が変質し、損傷の原因になります。

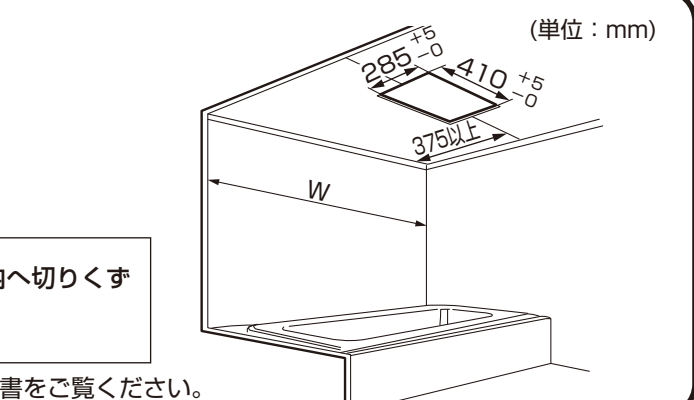


2. 天井パネル開口 (現場開口の場合)

- 天井パネルの推奨位置に285×410の開口を行う。(開口誤差範囲 285±5、410±5)
- 天井材が化粧鋼板の場合、切口には防錆材を塗布する。

お願い
 天井組み立て後に天井開口や下穴加工を行う場合は、浴室内へ切りくずなどを残さないこと
 さびなどの原因になります。

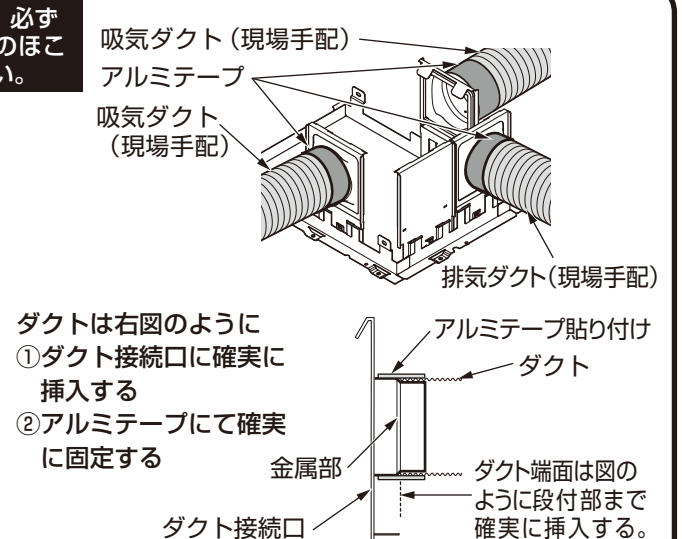
※埋め込み部材を設置する場合は、埋め込み部材専用の設置説明書をご覧ください。



5. ダクト配管

お願い 既設ダクトを流用する場合は、必ずダクト内部やベントキャップのほこりや異物を取り除いてください。

- ダクト接続の前に、ダクト内部やベントキャップに異物がないかを確認する。
 ※風量低下や異常音発生の原因になります。
- アルミフレキ管などのダクトを接続し、風漏れのないようにアルミテープで貼り付ける。(呼び径φ100)
 ※排気ダクト接続長さは、目安として直管20m相当以内にしてください。
 ※排気、洗面所吸気、トイレ吸気の配管を間違えないようにしてください。



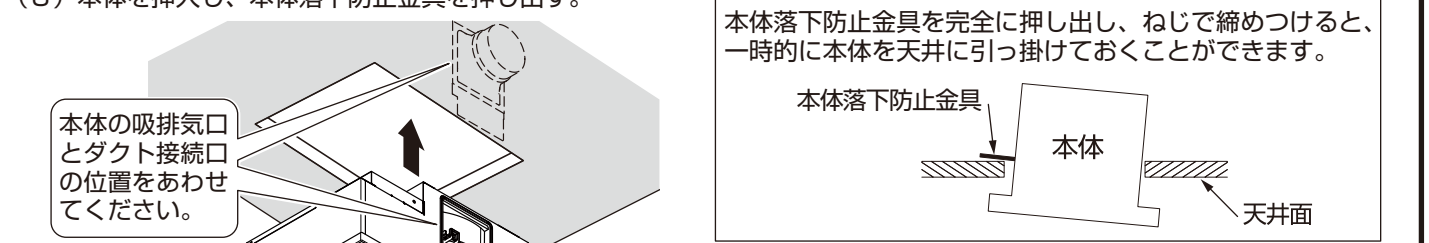
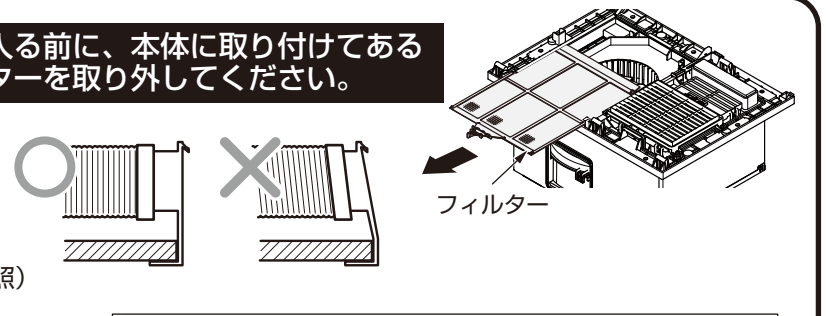
- お願い**
- ダクトの接続に接着剤は使用しないでください。メンテナンス時に、ダクトが外せなくなります。
 - ダクトの接続にねじを使用しないでください。故障の原因になります。
 - 配管時にダクトに力がかからないようにする。
 - 配管は天井裏のスラブより吊りし、ダクト接続口に力がかからないようにする。
 - Y管接続の場合は、排気出口近くで接続する。また、逆流しないように逆弁などを付ける。
 - 排気ダクト接続口から屋外に向けて1/100以上の傾斜をつける。結露水が逆流する原因になります。



6. 本体の取り付け

お願い 作業に入る前に、本体に取り付けてあるフィルターを取り外してください。

- ダクト接続口が外側へ倒れていないか確認する。ダクト接続口に無理な力がかかっていると、配管を修正し、ダクト接続口を真っ直ぐにしてください。
- 本体落下防止金具固定ねじを緩める。(下図参照)
- 本体を挿入し、本体落下防止金具を押し出す。



- コードの挟み込みに注意しながら天井面に水平に挿入する
- 本体の向きに注意



注意
 本体を天井に引っ掛けたまま、放置しない
 本体が落下してけがをしたり、破損の原因になります。

- ねじを緩める(約90°回転させる)
- 本体落下防止金具を押し出す
- ねじを締める

本体落下防止金具を押し出さないとグリルが取り付けられません。

6. 本体の取り付けのつづき

(5) 本体をワッシャー（8枚）、本体取付ねじ（φ4×10、8本）で固定する。

お願い

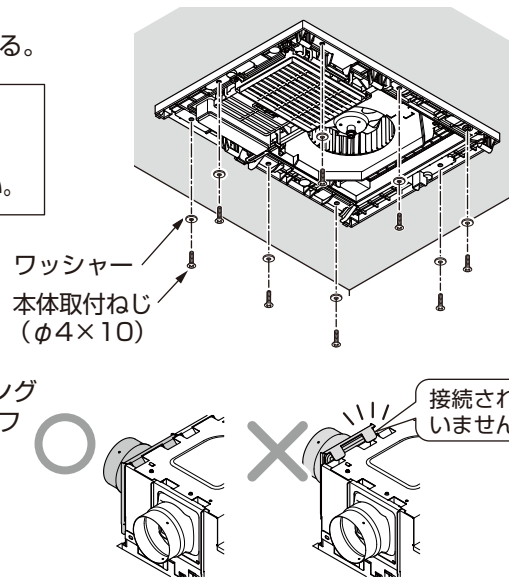
・インパクトドライバーは絶対に使用しない
締め過ぎにより本体取付ねじの破損の原因になります。
電動ドライバーを使用する場合は締付トルク3N・m以下のものを使用してください。

注意

取付ねじは最後まで締め込む
本体が落下してけがをしたり、破損の原因になります。

本体と天井のすき間が気になる場合は、下穴を開け、セルフドリリングねじ4×40（別売品：TYHK151）、または市販のステンレス製セルフドリリングねじ（φ4×40）を用いて追加固定してください。
（外形寸法の「追加固定用」下穴位置を参照）

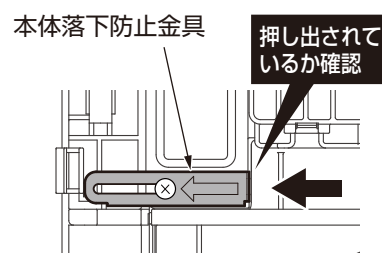
(6) ダクト接続口と本体が確実に接続されていることを点検口から見て確認する。



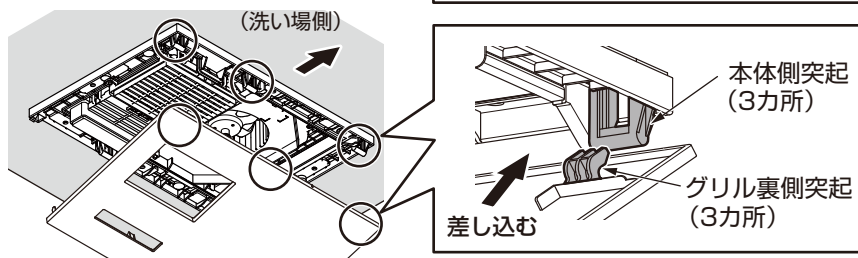
7. グリルの取り付け

(1) 本体落下防止金具が押し出されていることを確認する。

本体落下防止金具が押し出されていないとグリルの取り付けができません。

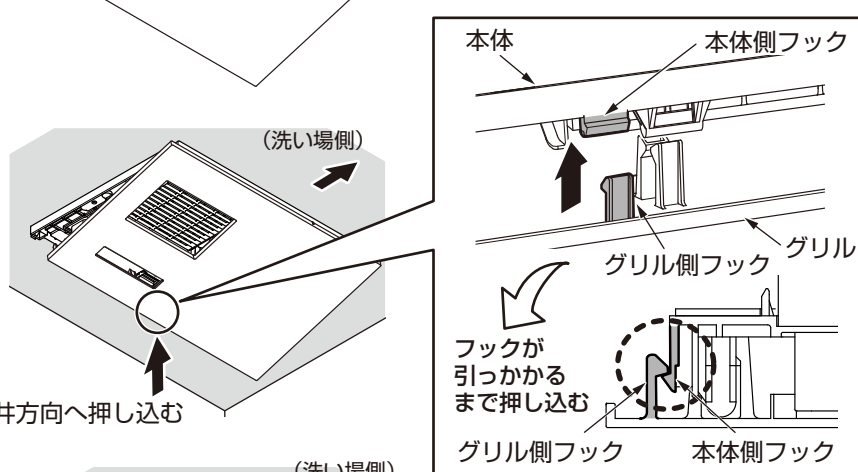


(2) 右図○印部のグリル裏側突起（3カ所）を本体側突起（3カ所）に差し込む。



(3) 右図○印部裏側のグリル側フックが本体側フックに引っかかるまで、グリルを天井方向へ押し込む。

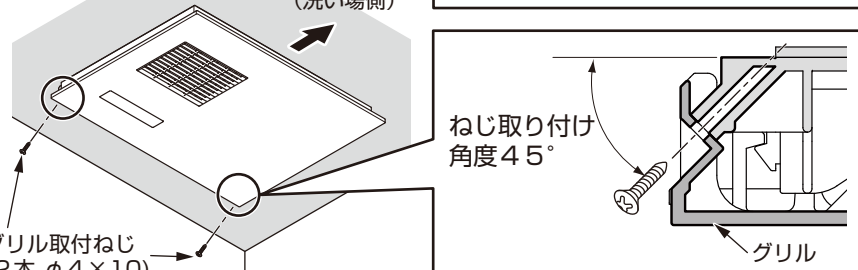
押し込みが不十分だと、グリルのねじ固定ができません。



(4) グリルと本体をグリル取付ねじ（2本）で固定する。

お願い

・グリルの取り付けは必ず手締めで行う
電動ドライバーなどで強く締め付けると部品が破損する原因になります。



8. リモコン（洗面所用）の取り付け

同梱以外のリモコンを設置する場合は、設置方法が異なります。各リモコンの設置説明書をご覧ください。

(1) リモコン取付位置の壁に開口を行う。

リモコンの場合

壁開口寸法・・・H74×W93（開口誤差範囲H74⁺⁰、W93⁺⁰）
※2連用スイッチボックス（JIS C 8340）も利用できます。
ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

照明スイッチ枠付リモコンの場合

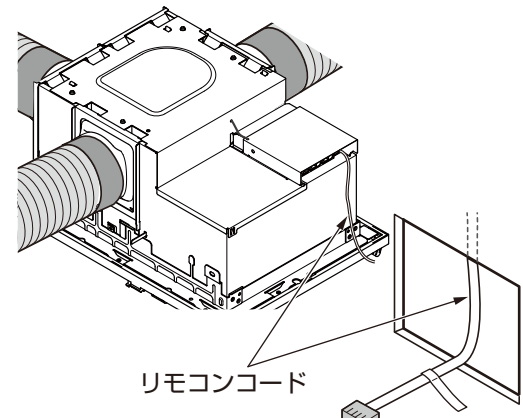
壁開口寸法・・・H74×W144（開口誤差範囲H74⁺⁰、W144⁺⁰）
※3連用スイッチボックス（JIS C 8340）も利用できます。
ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

商品に付属しているリモコンコードの長さは5mです。

※リモコンコードの長さが足りない場合は、10mのリモコンコード（別売品：TYHK007型）をご使用ください。

リモコン内部へ石膏ボードの粉などの侵入がないよう、十分注意してください。

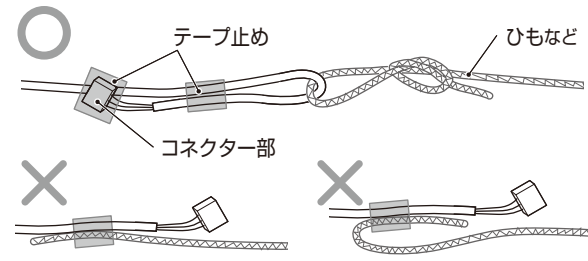
(2) リモコンコードを本体からリモコン取付位置まで配線する。
※リモコンコードを配管に通すときは、φ15以上の配管に通してください。



リモコンコード引き回し時の注意

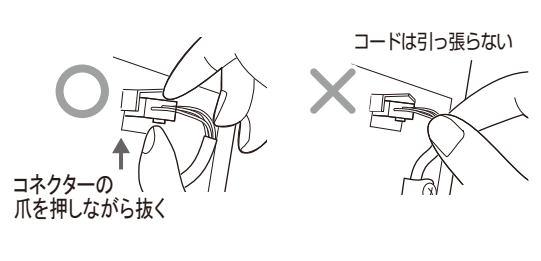
コネクタ部を保護すること

断線やコネクタ破損のおそれがあります。

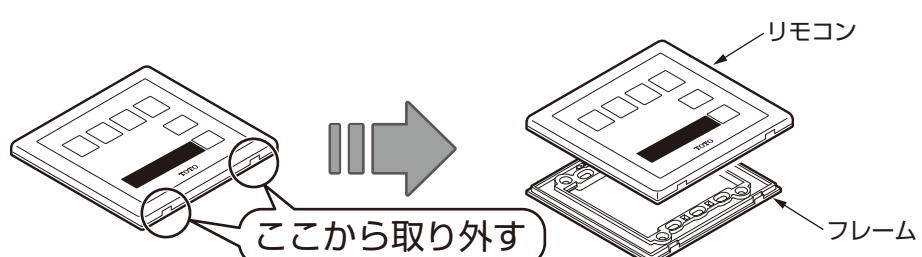


抜き差し注意

必ずコネクタを持って行うこと

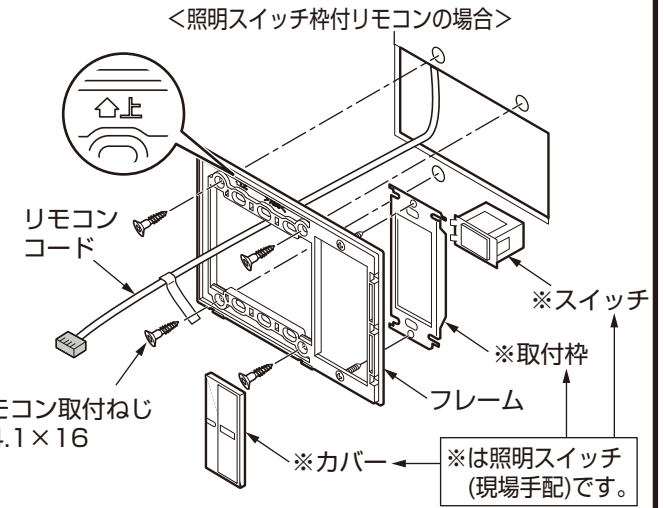
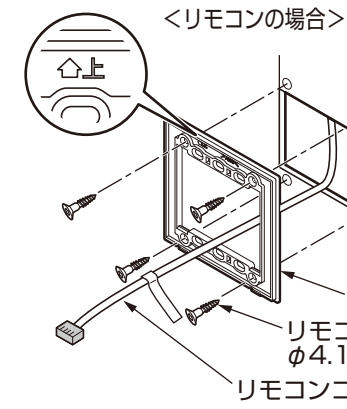


(3) リモコンからフレームを取り外す。



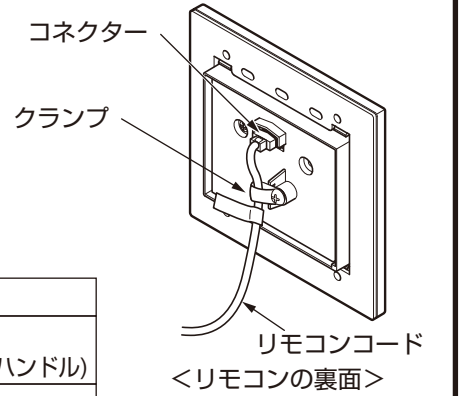
8. リモコン（洗面所用）の取り付けのつづき

(4) フレームにリモコンコードを通し、上下を確認のうえフレームをリモコン取付ねじ（φ4.1×16、4カ所）で壁に固定する。



(5) リモコンのコネクターにリモコンコードを接続し、リモコンに付属のクランプでリモコンコードを固定する。

(6) リモコンをフレームに取り付ける。
「カチッ」と音がするまではめ込む。



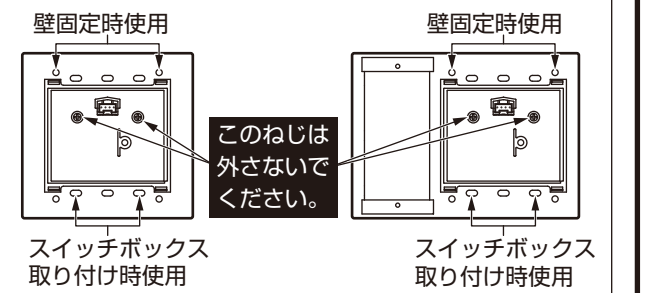
照明スイッチ（現場手配）は下記のスイッチをおすすめします。他メーカーのスイッチは取り付けられないことがあります。

メーカー名	品番・名称
パナソニック製	コスモシリーズワイド21 例) WT50519(埋込ほたるスイッチ)+WT3700(取付枠)+WT3031W(ハンドル)
東芝ライテック製	WIDE-βシリーズ 例) WDG1311(オフピカスイッチ)+WDG4303(サポート)+WDG1621L(WW)(スイッチカバー)

お願い

- ・リモコンを確実に取り付ける 動作不良の原因になります。
- ・フレームを壁固定するときは、必ず手締めで行うこと
電動ドライバーなどで強く締め付けると破損の原因になります。
- ・リモコンは、浴室には取り付けられない 故障の原因になります。
- ・リモコンコードの断線に注意する
- ・リモコン裏に付いているねじは外さない
- ・スイッチボックス等に取り付ける場合は、ねじを締めすぎない
フレームが変形してリモコンがうまく取り付けられなくなったり、フレームと壁のすき間が大きくなる原因になります。

フレームと壁のすき間が大きくなり過ぎたときは、締め付け量を調整してください。



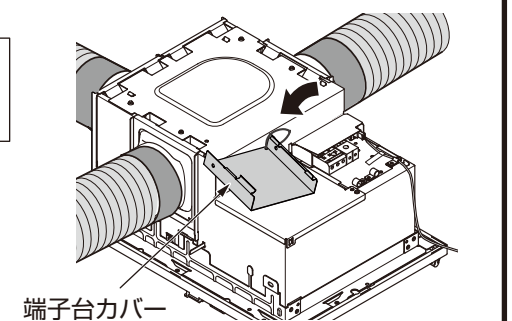
9. 電気工事

お願い

・TYB4012G型/TYB4013G型の電源はAC100Vを接続する
AC100V仕様商品に200Vを印加すると基板が破損します。

(1) 端子台カバーを取り外す。

(2) 電源線（VVFケーブルφ2mm）およびアース線（φ1.6mm～φ2mm）を電源端子台に接続する。



9. 電気工事のつづき

重要 電源端子台への接続について

・各々の芯線が真つすく15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を「グッと」と奥まで確実に差し込む。

確実に差し込む

接続後、電源線の芯線が右図のように差し込まれていることを、再度、目視で確認する

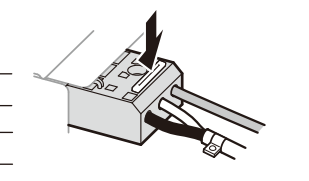
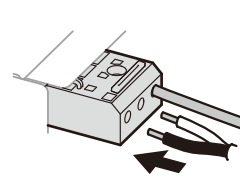
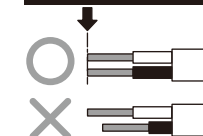
・電源線の芯線2本が均一になるように加工する。
（端子台の手前で均一になるように加工してください。）

・端子台に芯線を奥まで真つすく挿入する。

・端子台の近くで大きく曲げない。
先端が十分に差し込まれない場合があります。

・電源線を外すときは、下記▼部を電工マイナドライバーで強く押し込んでください。

端面を揃える



警告

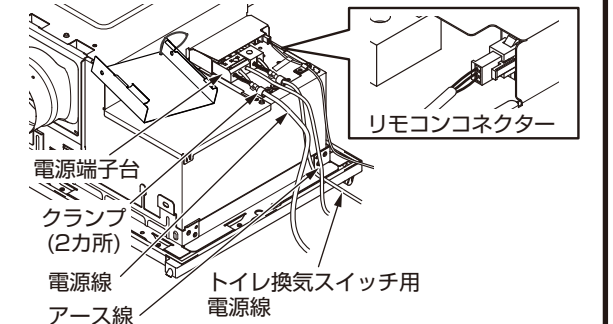
電源線（VVFケーブル）は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む
差し込みが不十分だと火災の原因になります。
また、端子台内部の発熱により端子台が故障し、切タイマーランプの「1」と「4」が点滅表示され、エラーとなる場合があります。
その場合は電源ブレーカーを切って、修理を依頼してください。

必ず実行

電源線はφ2mmの単線（VVFケーブル）を使用し、確実に接続する
より線は使用しない
不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。

- ・専用のブレーカー（20A）を取り付けてください。また漏電遮断器を取り付けてください。
- ・専用の漏電遮断器を取り付ける場合、15mA、動作時間0.1秒の高感度タイプのもをおすすめします。
- ・電源線（VVFケーブルφ2mm）は、点検が行えるように、本体取付位置より3mほどゆとりをもたせて配線してください。（電源線を束ねたまま配線しない。）
- ・アースはD種接地工事を行ってください。

(3) トイレ換気スイッチ用端子台へ接続する。
トイレ換気スイッチ（現場手配）を接続することにより、本商品の換気ファンをトイレ換気スイッチにより運転させることができます。
・電源線はVVFφ1.6またはφ2mmを使用してください。



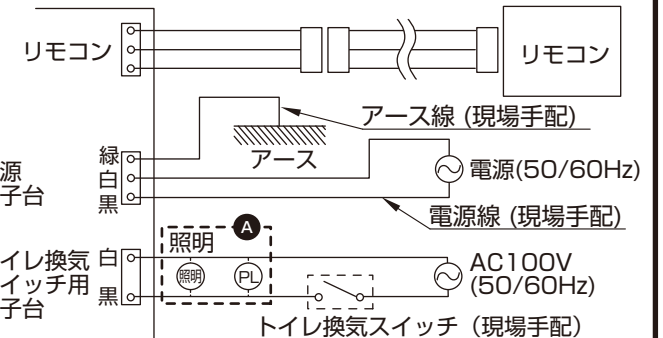
(4) 各種電源線を本体のクランプで（2カ所）固定する。

警告

電源線はクランプで確実に固定する
クランプで固定しない場合、電源接続部に負荷がかかり火災の原因になります。

(5) リモコンコードを確認する。

・リモコンコードのコネクターが浴室換気暖房乾燥機本体と確実に接続されていることを確認する



電源・電圧を間違えないように注意する

TYB4012G型	AC100V
TYB4013G型	AC100V
TYB4022G型	単相AC200V

照明やPL（パイロットランプ）を接続する場合はA部記載の位置に接続してください。

9. 電気工事のつづき

トイレ換気スイッチ(現場手配)の接続について

- パイロットランプは必ず電圧検知式を使用する
(例: パナソニック製WN3031RK、東芝ライテック製NDG4111R)
- トイレ換気スイッチは、漏れ電流5mA以下のものを使用すると共に、適合負荷条件内となるように、照明などの負荷を考慮し選定する
- また、トイレ換気スイッチ用端子台にはAC21mA(負荷抵抗)が流れますので、これに適合するスイッチを選定する
- トイレ換気スイッチの推奨スイッチは右表を参照する
- オンピカタイプのトイレ換気スイッチでLEDランプが点灯しない場合は、前の結線図を参考に照明などの負荷を入れる
- 本商品にはトイレ遅れタイマー機能がついています。

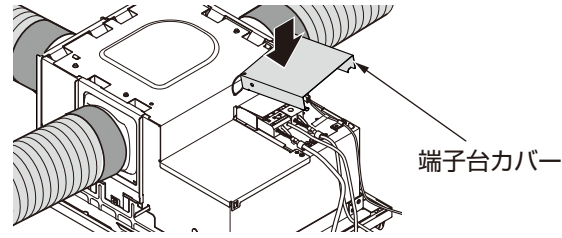
☞「9. B. トイレ遅れタイマー設定変更方法」を参照してください。

推奨スイッチ		2018年3月現在
メーカー名	品番	特長・名称
パナソニック製	WN5001	片切
	WT50519	ワイド21 片切・ほたる
	WT50529	ワイド21 3路・ほたる
東芝ライテック製	WT50412	ワイド21 埋め込みパイロット・ほたる 片切・定格0.5A(LED)
	NDG1111(WW)	片切
神保電器製	NDG1321(WW)	片切・オフピカ
	NDG1451(WW)	WIDE3 2線式片切オンピカ 定格0.5A(LED)
	WJ-1	J-WIDE 片切
WJ-3	J-WIDE 3路	
	WJ-1CL	J-WIDE 片切チェック用 定格0.5A(LED)

(6) 端子台カバーを取り付ける。

警告

必ず端子台カバーを取り付ける
カバーを取り付けなかった場合、ほこりの蓄積や水にぬれることにより、火災の原因になります。



10. ランドリーパイプの取り付け

(1) ランドリーパイプ(現場手配)を取り付ける。
(取付位置については、「1. 本体取付位置決定」を参照)

(2) ランドリーパイプ真下の壁面に、ランドリーパイプに付属の注意ラベルをはり付ける。
※詳しくは、ランドリーパイプ付属の説明書をお読みください。

お願い

- 浴室の天井が高い、照明があるなど、浴室の取り合いが悪い場合は、推奨位置より下方へずらして取り付けるただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。
- 当社バスルームに設置する場合は、バスルームに付属の組立要領書に記載の所定位置に取り付ける
- 本体を反転させて取り付けた場合は、ランドリーパイプ取付位置も変更する
(「1. 本体取付位置決定」を参照)

11. 吸込口グリルの取り付け

■取り付けには、天井取り付け・壁取り付けの2通りあります。ここでは、天井取り付けを示します。壁取り付けの場合も、同様に行ってください。

- ダクト(不燃材)を天井材の吸込口まで配管する。
- 天井材を張り、取付位置に右図を参照して天井材に開口部と取付用下穴を開ける。
- グリルの両側の手掛部を持ってグリルとダクト接続部を外す。
- ダクト接続部をダクトにはめ込み天井材に付属の木ねじ(4本)で締め付ける。

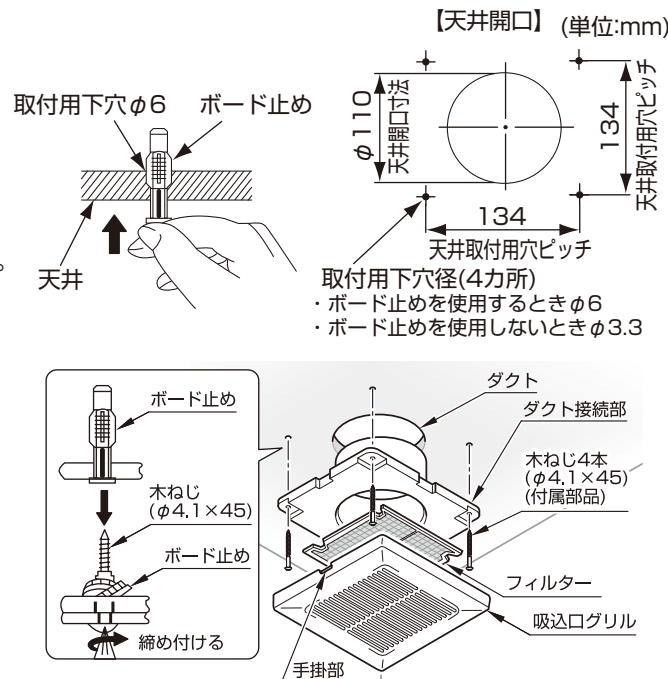
天井材の強度が弱い場合、ボード止めを使用してください。

ボード止めに付属の木ねじ4本で締め付けると図のようにボード止めが変形して確実に取り付けられます。

- 取り外したグリルをグリルの手掛部とダクト接続部の切り欠き部を合わせて「カチッ」とはめ込む。

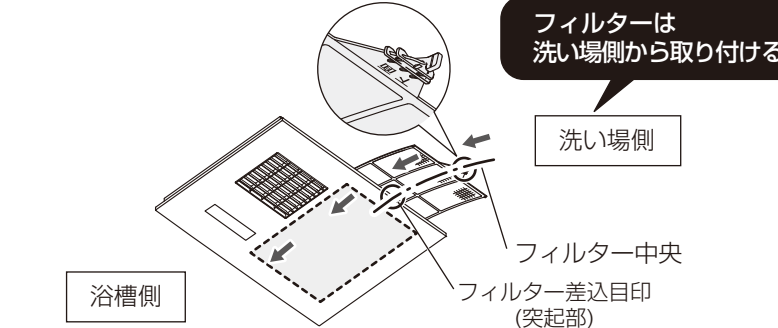
お願い

吸込口グリルは同梱のもの、もしくはフィルター内蔵のものを使用する
本体内のほこり詰まり、故障の原因になります。



12. フィルターの取り付け

- フィルター取り付けの際は「下面」という文字が見える向きにする。
- フィルター差込目印(突起部)とフィルターの中央をあわせる。
- 突き当たるまで奥に差し込む。



フィルターはグリルの2方向から取り付けが可能です。洗い場側から取り付けください。
※浴槽側から取り付けると、引渡し後のお手入れの際に浴室の壁が邪魔になって、フィルターが取り外せなくなる原因になります。

お願い

フィルターつまみだけがグリルから露出します

フィルターつまみ

グリル

フィルターは洗い場側から取り付ける

洗い場側

浴槽側

フィルター中央

フィルター差込目印(突起部)

奥まで差し込む

お願い

フィルターの設置場所および、フィルターの着脱方法をお客様にご説明ください。

8 試運転

同梱以外のリモコンを設置した場合は、各リモコンの設置説明書をご覧ください。

設置が完了したら、再度結線や取付方向などが間違っていないか確認して「取扱説明書」の「使いかた」を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実に振動・異常音がないか確認してください。

注意

運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない
回転による傷害の原因になります。

お願い

- 試運転の前にフィルターに付着したほこり・ゴミなどを取り除いてください。風量が少ない、騒音が大きいなど性能低下の原因となります。
- 試運転の際はグリルを養生シートなどで覆わないでください。熱がこもり変形などの原因になります。

1. 電源投入

三乾王の専用ブレーカーを入れ通電させる。
三乾王に電源を投入すると、自動で約1分間ファンが動作します。これは現場情報(排気圧損など)を確認するための初期動作です。初期動作中はボタンを押しても受け付けませんが、故障ではありません。
※必ず、この初期動作(運転)が完了したことを確認して、「2. 動作確認」を行ってください。

2. 動作の確認

洗い場方向に風が出ていることを確認してください。

(1) 換気 換気 を押して本体グリルより換気していることを確認する。

正 を押して停止させる。

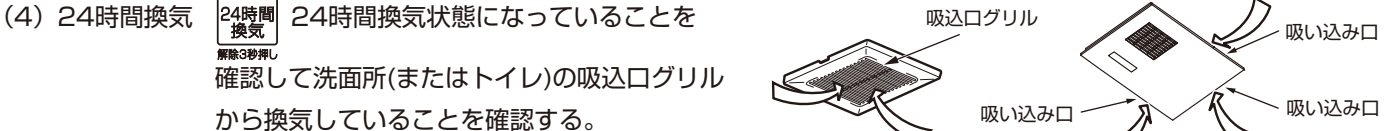
(2) 衣類乾燥 暖房 衣類乾燥 または 暖房 を押して吹き出し口から温風が出ていることを確認する。

正 を押して停止させる。

(3) 涼風 涼風 を押して吹き出し口から風が出ていることを確認する。

正 を押して停止させる。

(4) 24時間換気 24時間換気 24時間換気状態になっていることを確認して洗面所(またはトイレ)の吸込口グリルから換気していることを確認する。



(5) トイレ換気スイッチ(現場手配)を付けている場合はトイレ換気スイッチの操作で換気されることを確認する。
※トイレ換気スイッチのON操作後、約10秒後に換気を始めます。

2. 試運転時のチェックポイント

試運転時に不具合が生じたらチェックポイントを再確認してください。

動作不具合	チェックポイント
電源が入らない	本体に電源を確実に接続していますか? →確実に接続してください。 ☞「7. 10. 電気工事」を参照してください。
	リモコンコードとリモコンを確実に接続していますか? →確実に接続してください。 ☞「7. 9. リモコンの取り付け」を参照してください。
	リモコンコードを設置中に切断していませんか? →誤って切断した場合は、部品交換してください。
異常音が出る	分電盤のブレーカーに電源線を確実に接続し、ブレーカーを「入」にしていますか? →確実に接続し、ブレーカーを「入」にしてください。
	本体をしっかり天井に取り付けていますか? →しっかりと固定してください。 ☞「7. 7. 本体の取り付け」を参照してください。
	ベントキャップやファンに異物が詰まっていますか? →異物を取り除いてください。
リモコンの「切タイマーランプ」表示	浴室に空気取り入れ口を確保していますか? →空気取り入れ口を確保してください。 ※スイッチを押したときに「カチッ」と音がするのはリレーの動作音です。故障ではありません。
	「2」と「8」が点滅 TYB4022G型(単相AC200V)にAC100Vが接続されていませんか? →単相AC200Vを接続してください。 上記の処置を行い、電源ブレーカーを切り、60秒以上たってから、再度電源ブレーカーを入れてください。それでも直らない場合は運転を停止し、電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。
	「1」と「4」が点滅 電源接続が不十分なため温度ヒューズが溶断した可能性があります。 →電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。
換気風量が不足している	「0.5」と「8」が点滅 本体に対応したリモコンが正しく取り付けられていますか? →リモコンコードが正しく接続されているか確認してください。
	排気のダクトは正しく接続されていますか? →確実に接続してください。
	排気のダクト内部に異物がありますか? →異物を取り除いてください。 ☞「7. 6. ダクト配管」を参照してください。
空気取り入れ口は確保されていますか? →確保してください。	ベントキャップに異物が詰まっていますか? →異物を取り除いてください。
	暖房や乾燥の運転開始後、すぐには温風は出ません。徐々に温度が上がっていきます。運転停止操作後、ヒーター冷却のため約20秒間ファンが動作します。

9 設定変更モード

本商品は、現場の状況にあわせて設定を変更できます。

A. 24時間換気(常時換気)風量変更

- 変更可能な内容
右表が変更可能な換気風量となっています。

●24時間換気風量(2室換気タイプ)

機種	換気風量(m ³ /h)	切タイマーランプ表示部
TYB4012G型 TYB4022G型	40	1 2 3 4 8
	60	1 2 3 4 8
	80	★ 1 2 3 4 8
	100	1 2 3 4 8
	120	1 2 3 4 8

★印は工場出荷時の設定です。

A. 24時間換気(常時換気)風量変更のつづき

- 設定変更の仕方
 - (運転をしている場合は 正 を押す)
切タイマー を押しながら、暖房 を同時に5秒以上押し続ける。
(フィルター清掃ランプ(赤)が点滅し、設定変更モードになります)
 - 24時間換気 を押す。(24時間換気ランプが点滅します)
 - 切タイマー を押して、設定値を変更する。(右表:24時間換気風量を参考)
切タイマーを押すごとに設定値が切り替わります。
(選択した切タイマーランプが点滅します)
 - 24時間換気 を押す。24時間換気ランプ、切タイマーランプ、フィルター清掃ランプ(赤)が消灯し、設定変更が確定します。

●24時間換気風量(3室換気タイプ)

機種	換気風量(m ³ /h)	切タイマーランプ表示部
TYB4013G型	60	1 2 3 4 8 10
	80	1 2 3 4 8 10
	100	★ 1 2 3 4 8 10
	120	1 2 3 4 8 10
	150	1 2 3 4 8 10
180	1 2 3 4 8 10	

★印は工場出荷時の設定です。

B. トイレ遅れタイマー設定変更方法

本商品はトイレ換気スイッチ「OFF」後、しばらく換気運転を継続する「トイレ遅れタイマー」機能を備えており、必要に応じてトイレ遅れタイマーの設定時間を変更することができます。

- 変更可能な内容
右表が変更可能な風量となっています。
- 設定変更の仕方
 - (運転をしている場合は 正 を押す)
切タイマー を押しながら、暖房 を同時に5秒以上押し続ける。
(フィルター清掃ランプ(赤)が点滅し、設定変更モードになります)
 - 一時止 を押す。(一時止ランプが点滅します)
 - 切タイマー を押して、設定値を変更する。
(右表:トイレ遅れタイマーを参考)
切タイマーを押すごとに設定値が切り替わります。
(選択した切タイマーランプが点滅します)
 - 一時止 を押す。一時止ランプ、切タイマーランプ、フィルター清掃ランプ(赤)が消灯し、設定変更が確定します。

●トイレ遅れタイマー

機種	時間(分)	切タイマーランプ表示部
TYB4012G型 TYB4022G型 TYB4013G型	遅れなし	★ 1 2 3 4 8 10
	1	0.5 1 2 3 4 8 10
	3	0.5 1 2 3 4 8 10
	5	0.5 1 2 3 4 8 10
	10	0.5 1 2 3 4 8 10
	30	0.5 1 2 3 4 8 10
60	0.5 1 2 3 4 8 10	

★印は工場出荷時の設定です。

お知らせ

- 遅れ消灯機能がついているトイレ換気スイッチを使用した場合、トイレ換気運転の遅れ時間はトイレ換気スイッチで設定された時間と本商品で設定された時間の合計となります。
- 本商品にて遅れタイマー設定をしている場合、パイロットランプが換気停止を表示している場合でも、トイレ換気は継続して行います。

設定を中止するとき

途中で設定変更を中止する場合は 正 を押す。

設定を初期設定に戻すとき

設定を工場出荷時の設定に戻したいときは 切タイマー と 換気 を同時に5秒以上押し続ける。
フィルター清掃ランプ(赤)が5回点滅し、すべての設定値が初期設定に戻ります。

試運転のあとは

■工事店様へ
設置後は、同梱の「取扱説明書(保証書付)」をお客様にお渡ししてから、商品の使いかたとフィルターの着脱方法を説明してください。本体取り付けの向きを変えて設置した場合は、グリル表面のロゴやラベルが洗い場側から見て逆になっていることをお客様に説明してください。取扱説明書に付属の保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。